

調査結果の概要

1 令和6年の概況

～ 生産・出荷・在庫指数、いずれも前年より低下 ～

○ 鉱工業指数は、生産・出荷・在庫いずれも前年を下回った〔生産93.5（前年比▲1.0%低下）、出荷92.8（前年比▲1.9%低下）、在庫79.9（前年比▲12.1%低下）〕。

～四半期別（季節調整済指数）でみると～

- 生産指数は、令和6年Ⅰ期からⅡ期は前期を上回ったが、Ⅲ期からⅣ期は前期を下回った。
- 出荷指数は、令和6年Ⅱ期は前期を上回ったが、Ⅰ期とⅢ期からⅣ期は前期を下回った。
- 在庫指数は、令和6年Ⅰ期は前期を上回ったが、Ⅱ期からⅣ期は前期を下回った。

（1）生産

- ・ 生産指数は、93.5（前年比 ▲1.0%低下）。2年連続で前年を下回った（図1）。
- ・ 業種別にみると、電子部品・デバイス工業、プラスチック製品工業、木材・木製品工業など6業種で上昇し、パルプ・紙・紙加工品工業は横ばい、輸送機械工業、一般機械工業（総合）、窯業・土石製品工業など11業種で低下した（図2）。

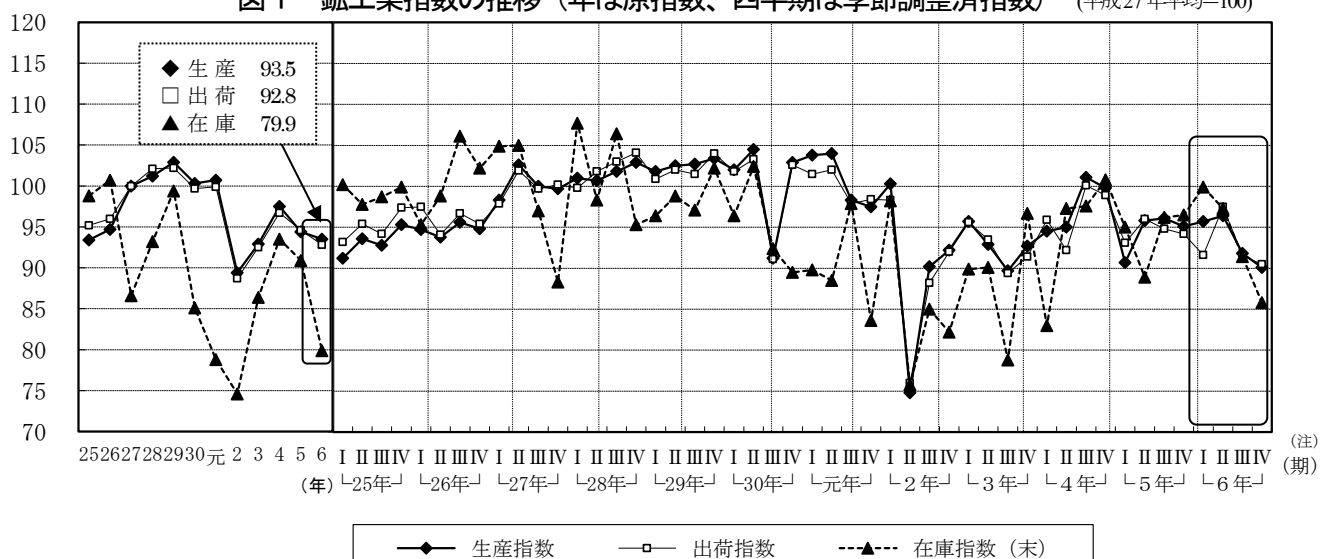
（2）出荷

- ・ 出荷指数は、92.8（前年比 ▲1.9%低下）。2年連続で前年を下回った（図1）。
- ・ 業種別にみると、電子部品・デバイス工業、プラスチック製品工業、木材・木製品工業など5業種で上昇し、非鉄金属工業は横ばい、輸送機械工業、鉄鋼業、一般機械工業（総合）など12業種で低下した。

（3）在庫（期末）

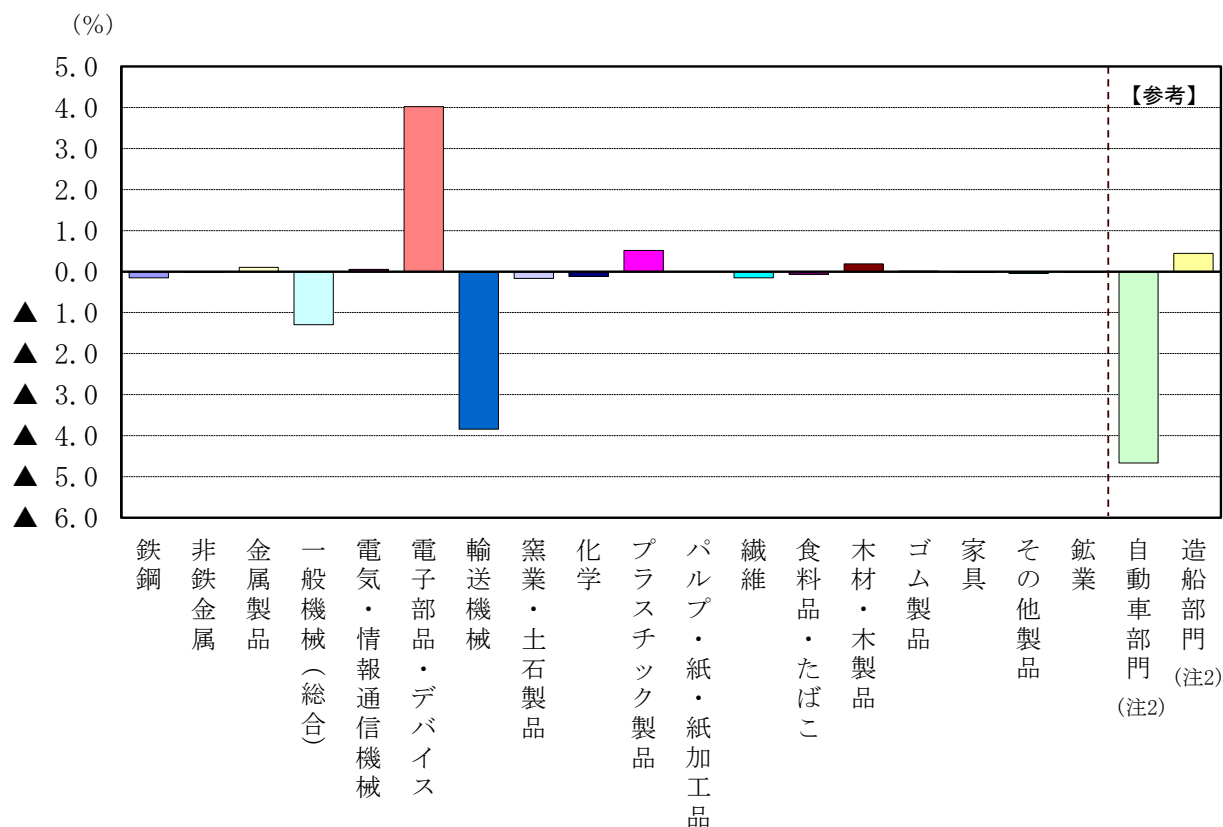
- ・ 在庫指数（期末在庫）は、79.9（前年比 ▲12.1%低下）。2年連続で前年を下回った（図1）。
- ・ 業種別にみると、鉄鋼業、電気機械工業（総合）、木材・木製品工業など5業種で上昇し、鉱業は横ばい、輸送機械工業、一般機械工業（総合）、金属製品工業など11業種で低下した。

図1 鉱工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）（平成27年平均＝100）



（注）Ⅰ期：1～3月、Ⅱ期：4～6月、Ⅲ期：7～9月、Ⅳ期：10～12月

図2 令和6年における生産指数の前年比に対する業種別寄与度 (注1)



(注1) 寄与度とは、指数全体の上昇・低下に対し、各業種の上昇・低下が、どの程度影響を与えているかを示したものの。

(注2) 「自動車部門」：輸送機械工業 19 品目のうち、普通自動車など自動車関連 11 品目と、電気・情報通信機械工業の自動車用電気照明器具及びプラスチック製品工業のプラスチック機械部品、輸送機械用の合計。

「造船部門」：輸送機械工業のうち、鋼船新造など造船関係 5 品目の合計。

2 生産の業種別動向（寄与度順）

(1) 前年比が上昇した主な業種

上昇した主な業種	前年比	寄与度	上昇した主な品目
電子部品・デバイス工業	20.6%	4.0%	大規模集積回路、プロジェクションスクリーン
プラスチック製品工業	10.6%	0.5%	光学フィルム、フィルム_硬質製品
木材・木製品工業	11.5%	0.2%	製材品

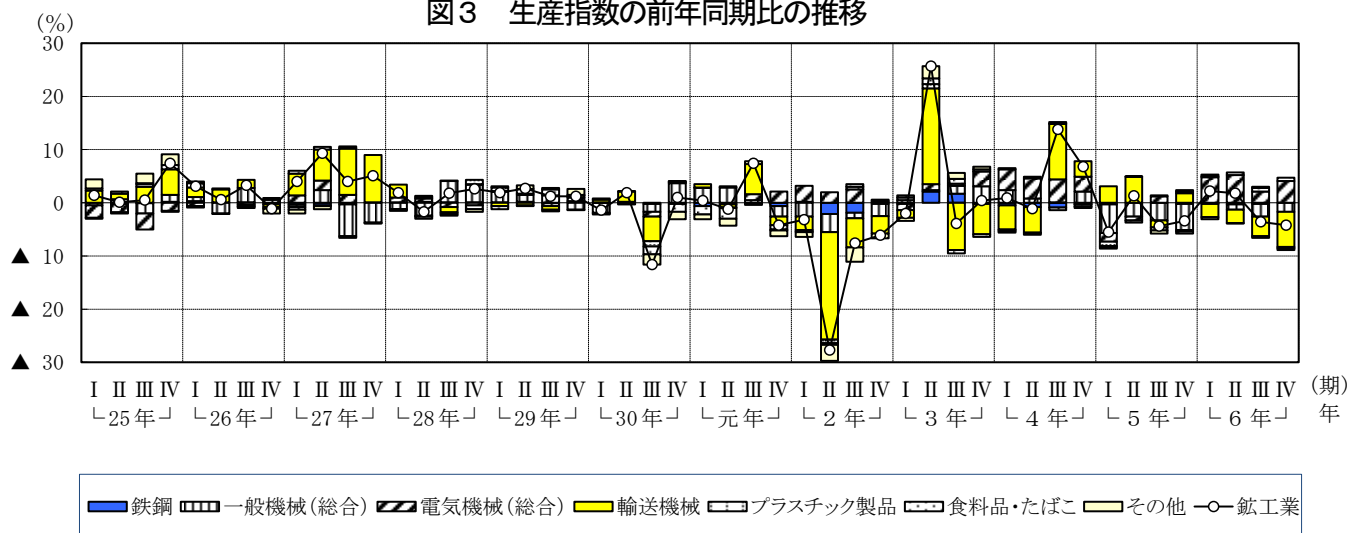
(2) 前年比が低下した主な業種

低下した主な業種	前年比	寄与度	低下した主な品目
輸送機械工業	▲12.9%	▲3.8%	普通自動車、ガソリンエンジン、シャシー及び車体部品
一般機械工業（総合）	▲8.3%	▲1.3%	ショベル系掘削機械、ボイラの部品・附属品、紙工機械
窯業・土石製品工業	▲10.0%	▲0.2%	生コンクリート、研削砥石、石灰

3 四半期別生産指数の推移

令和6年を四半期ごとにみると、広島県では、Ⅰ期からⅡ期は前年同期を上回ったが、Ⅲ期からⅣ期は前年同期を下回った(図3)。

図3 生産指数の前年同期比の推移



4 関連業種別生産指数の推移

素材関連業種は上昇、機械関連業種と生活関連業種はいずれも低下

業種別の生産指数を、機械関連業種、素材関連業種、生活関連業種の3関連業種に分けて分析すると^(注)、令和6年は、機械関連業種は2年連続の低下、素材関連業種は3年ぶりの上昇、生活関連業種は3年連続の低下となった(図4、5)。

図4 生産指数の前年比の推移

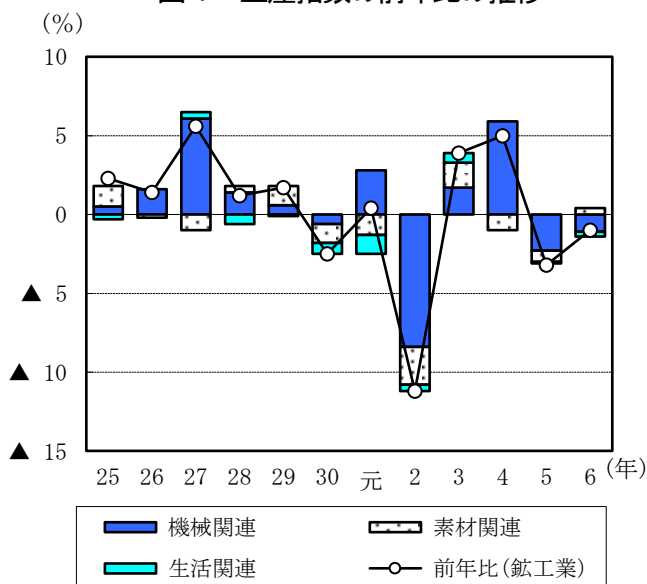
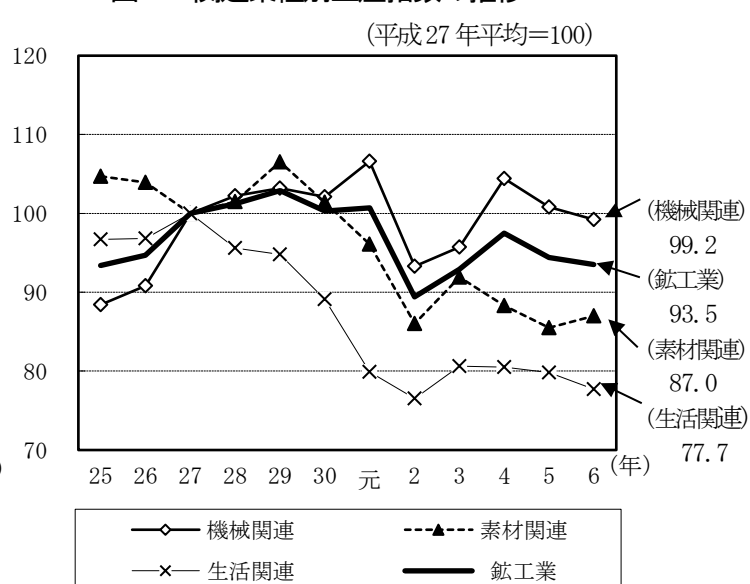


図5 関連業種別生産指数の推移



(注) 各関連業種の分類は、次のとおりとした。

機械関連業種：一般機械工業(総合)、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業の4業種

素材関連業種：鉄鋼業、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、化学工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の9業種

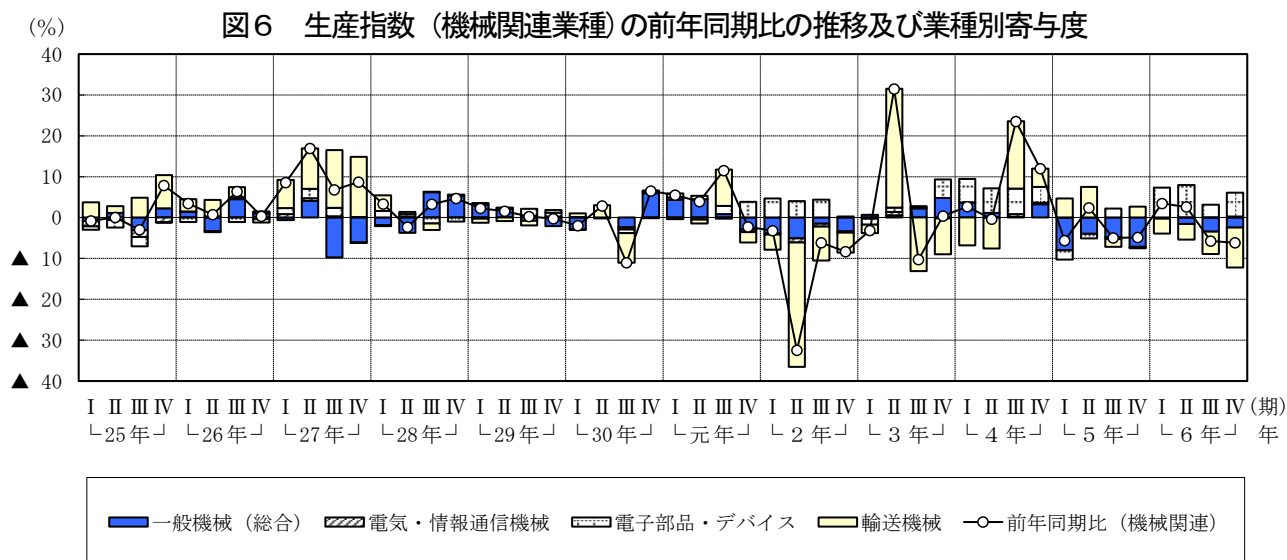
生活関連業種：繊維工業、食料品・たばこ工業、家具工業、その他製品工業の4業種

(1) 機械関連業種の生産指数の推移

機械関連業種の生産指数は、令和6年Ⅲ期以降はマイナスで推移

機械関連業種の生産指数は、電子部品・デバイス工業が全期プラスで推移したものの、一般機械工業(総合)と輸送機械工業が全期マイナスで推移したため、令和6年Ⅰ期からⅡ期は前年同期を上回り、Ⅲ期からⅣ期は前年同期を下回った。(図6)。

機械関連	令和6年Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
原指数	102.2	98.8	96.9	98.8
前年同期比(%)	3.4	2.6	▲ 5.8	▲ 6.2



① 一般機械工業（総合）

一般機械工業（総合）は、84.1（前年比 ▲8.3%低下）。半導体製造装置、圧縮機などが上昇したものの、ショベル系掘削機械、ボイラの部品・附属品などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を下回り、令和5年Ⅰ期以降8期連続で前年同期を下回った。

② 電気・情報通信機械工業

電気・情報通信機械工業は、83.6（前年比 2.1%上昇）。低圧遮断器、開閉制御装置などが低下したものの、電気測定機、電気計器などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和6年Ⅱ期に4期ぶりに前年同期を上回り、Ⅱ期からⅣ期まで3期連続で前年同期を上回った。

③ 電子部品・デバイス工業

電子部品・デバイス工業は、203.6（前年比 20.6%上昇）。混成集積回路、集積回路が低下したものの、大規模集積回路、プロジェクションスクリーンが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和6年Ⅰ期に2期ぶりに前年同期を上回り、令和6年Ⅰ期以降4期連続で前年同期を上回った。

④ 輸送機械工業

輸送機械工業は、73.6（前年比 ▲12.9%低下）。鋼船修理、航空機部品などが上昇したものの、普通自動車、ガソリンエンジンなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和6年Ⅰ期に2期ぶりに前年同期を下回り、令和6年Ⅰ期以降4期連続で前年同期を下回った。

【参考】自動車部門

自動車部門は、74.6（前年比 ▲18.5%低下）。特装ボデー、自動車用電気照明器具などが上昇したものの、普通自動車、ガソリンエンジンなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和6年Ⅰ期に2期ぶりに前年同期を下回り、令和6年Ⅰ期以降4期連続で前年同期を下回った。

【参考】造船部門

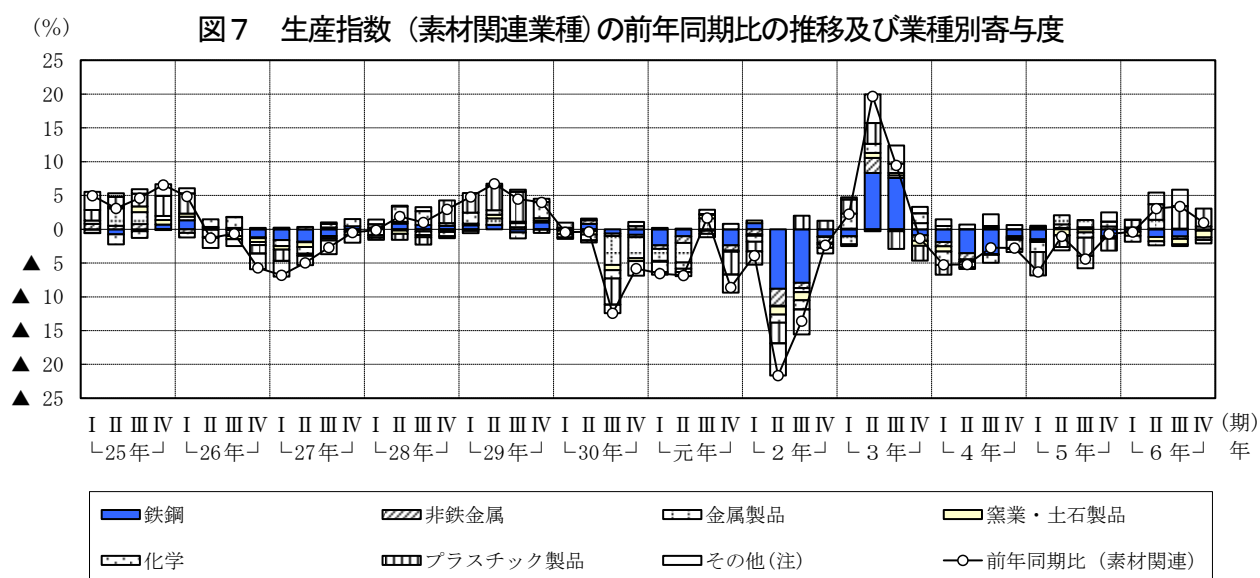
造船部門は、55.1（前年比 11.1%上昇）。船体ブロックが低下したものの、鋼船修理、船用蒸気タービンなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和6年Ⅱ期に3期ぶりに前年同期を下回ったものの、Ⅲ期からⅣ期は前年同期を上回った。

(2) 素材関連業種の生産指数の推移

素材関連業種の生産指数は、令和6年Ⅱ期に11期ぶりにプラスに転じる

素材関連業種の生産指数は、プラスチック製品工業と金属製品工業が全期で前年同期を上回ったため、令和6年Ⅱ期に11期ぶりに前年同期を上回り、Ⅱ期以降は3期連続で前年同期を上回った。(図7)。

素材関連	令和6年Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
原指数	84.1	88.1	86.8	89.0
前年同期比(%)	▲ 0.4	3.1	3.4	1.0



(注) 「その他」はパルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の合計。

① 鉄鋼業

鉄鋼業は、77.4(前年比 ▲3.0%低下)。ティンフリースチール、特殊鋼冷間仕上鋼材などが上昇したものの、特殊鋼熱間圧延鋼材、普通鋼冷間仕上鋼材などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を下回り、令和5年Ⅳ期以降5期連続で前年同期を下回った。

② 非鉄金属工業

非鉄金属工業は、76.6(前年比 ▲0.4%低下)。銅・銅合金鋳物、電気鉛などが上昇したものの、アルミニウムダイカスト、電気銀などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和6年Ⅲ期に6期ぶりに前年同期を下回り、Ⅳ期も前年同期を下回った。

③ 金属製品工業

金属製品工業は、83.4(前年比 4.5%上昇)。橋りょう、グレーチングなどが低下したものの、飲料用缶、水門(水門巻上機を含む)などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を上回り、令和5年Ⅰ期以降8期連続で前年同期を上回った。

④ 窯業・土石製品工業

窯業・土石製品工業は、70.8(前年比 ▲10.0%低下)。耐火レンガ、不定形耐火物が上昇したものの、生コンクリート、研削砥石などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を下回り、令和3年Ⅳ期以降13期連続で前年同期を下回った。

⑤ 化学工業

化学工業は、86.4(前年比 ▲4.0%低下)。メタクリル酸エステル(モノマー)、酸化第二鉄などが上昇したものの、アクリロニトリル、プラスチック樹脂などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を下回り、令和4年Ⅰ期以降12期連続で前年同期を下回った。

⑥ プラスチック製品工業

プラスチック製品工業は、100.0(前年比 10.6%上昇)。プラスチック機械部品、輸送機械用、日用品・雑貨などが低下したものの、光学フィルム、フィルム、硬質製品が上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和6年Ⅰ期に6期ぶりに前年同期を上回り、令和6年Ⅰ期以降4期連続で前年同期を上回った。

⑦ パルプ・紙・紙加工品工業

パルプ・紙・紙加工品工業は、91.8(前年比 横ばい)。包装用紙、紙器用板紙などが上昇したものの、非塗工印刷用紙、製紙パルプなどが低下した。四半期ごとにみると、令和6年Ⅱ期からⅢ期は前年同期を上回り、Ⅰ期とⅣ期は前年同期を下回った。

⑧ 木材・木製品工業

木材・木製品工業は、108.9(前年比 11.5%上昇)。特殊合板が低下したものの、製材品が上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和5年Ⅳ期以降4期連続で前年同期を上回ったものの、令和6年Ⅳ期に5期ぶりに前年同期を下回った。

⑨ ゴム製品工業

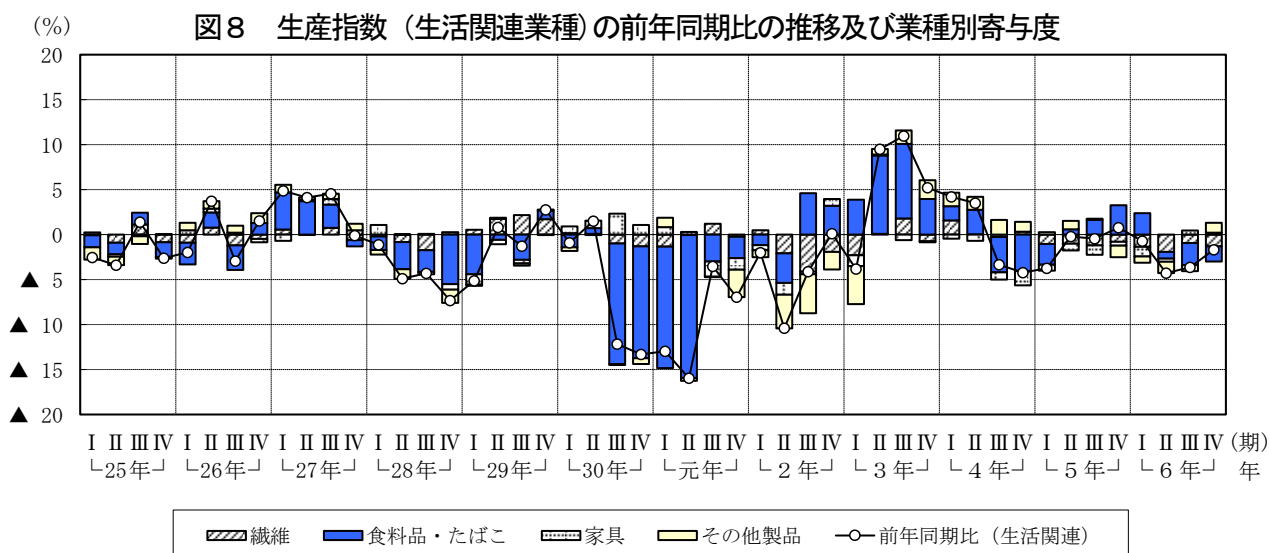
ゴム製品工業は、95.5(前年比 0.6%上昇)。自動車用タイヤ(特殊車両用)、工業用ゴム製品などが低下したものの、運動競技用品ゴム製品が上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和6年Ⅰ期に7期ぶりに前年同期を下回ったものの、Ⅱ期からⅣ期は3期連続で前年同期を上回った。

(3) 生活関連業種の生産指数の推移

生活関連業種の生産指数は、全期でマイナス

生活関連業種の生産指数は、食料品・たばこ工業がⅡ期からⅣ期で前年同期を下回り、繊維工業が全期で前年同期を下回ったため、全期で前年同期を下回った(図8)。

生活関連	令和6年Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
原指数	77.0	81.0	75.4	77.5
前年同期比(%)	▲ 0.7	▲ 4.3	▲ 3.6	▲ 1.7



① 繊維工業

繊維工業は、77.1(前年比 ▲9.5%低下)。網類、綿織物が上昇したものの、合成繊維、再生・半合成繊維などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を下回り、令和5年Ⅰ期以降8期連続で前年同期を下回った。

② 食料品・たばこ工業

食料品・たばこ工業は、77.2(前年比 ▲1.0%低下)。清涼嗜好飲料、瓶詰・缶詰などが上昇したものの、パン類、海藻加工品などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和6年Ⅱ期に5期ぶりに前年同期を下回り、Ⅱ期からⅣ期まで3期連続で前年同期を下回った。

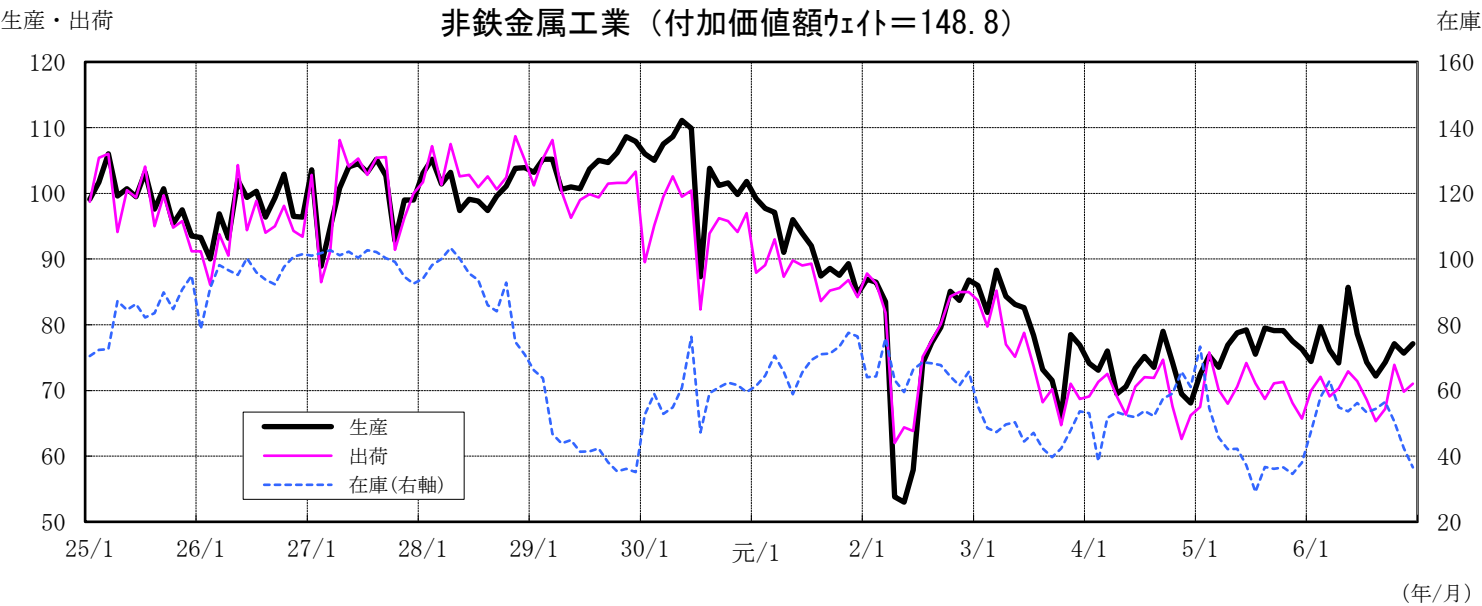
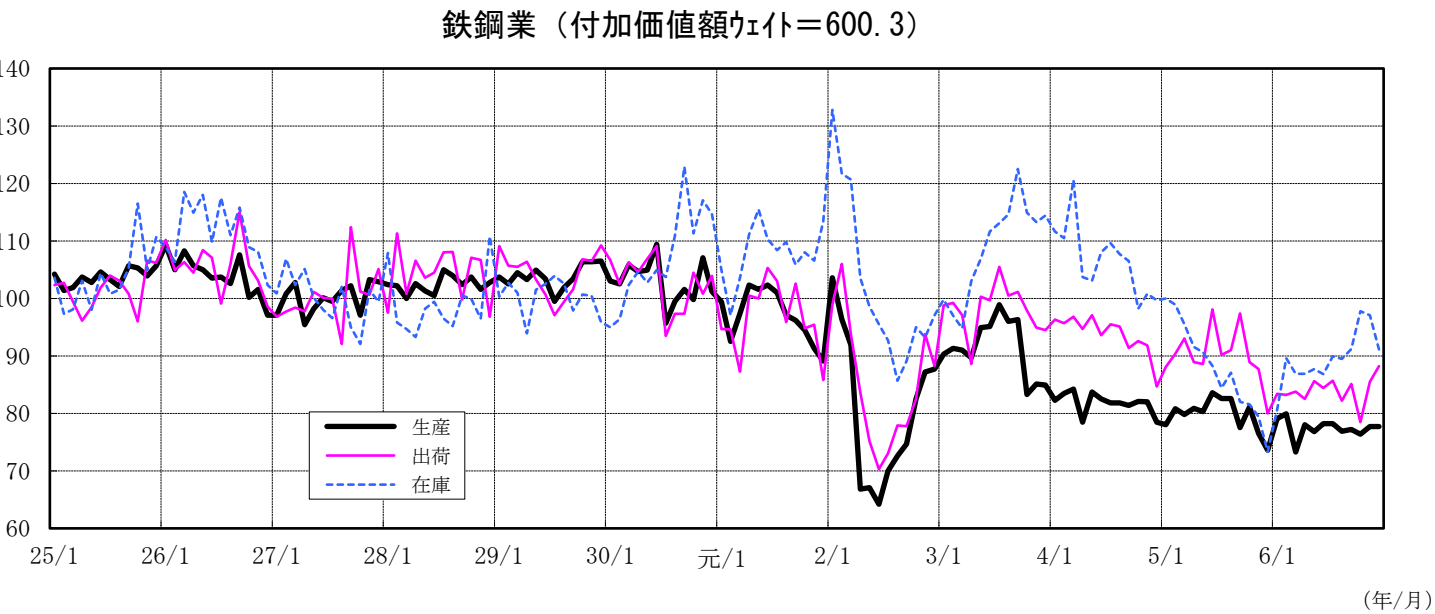
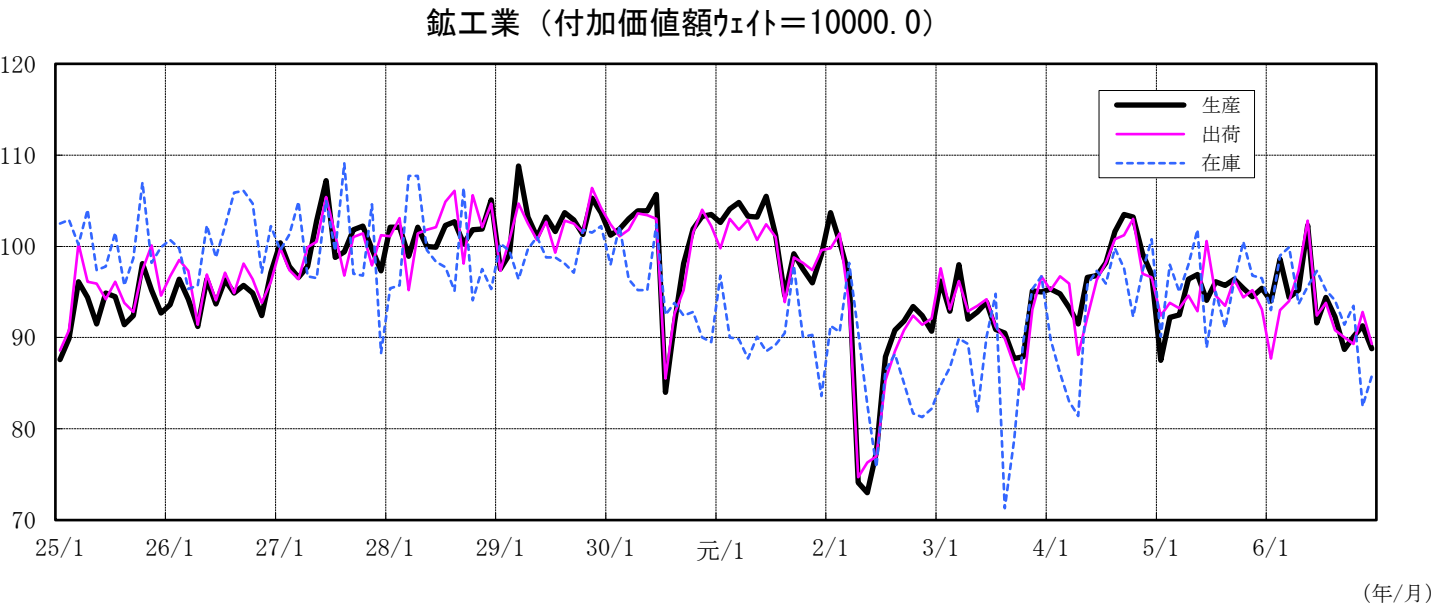
③ 家具工業

家具工業は、65.8(前年比 ▲4.5%低下)。木製ベッド、台所用流し台・調理台が上昇したものの、木製応接いす・食卓いす、木製食器棚などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和6年Ⅲ期に13期ぶりに前年同期を上回り、Ⅳ期も前年同期を上回った。

④ その他製品工業

その他製品工業は、83.4(前年比 ▲2.1%低下)。印刷が上昇したものの、看板、コークスなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和5年Ⅳ期以降4期連続で前年同期を下回ったものの、令和6年Ⅳ期に5期ぶりに前年同期を上回った。

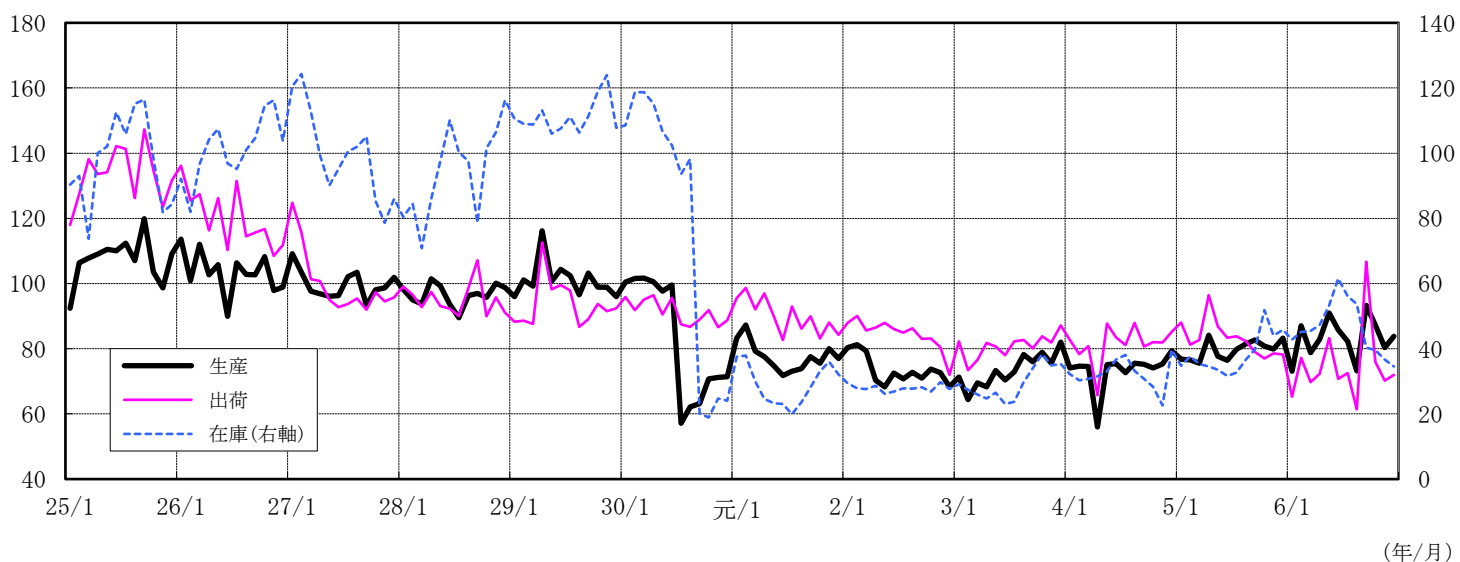
5 業種別季節調整済指数の推移（平成27年平均＝100）



生産・出荷

金属製品工業（付加価値額ウエイト＝276.0）

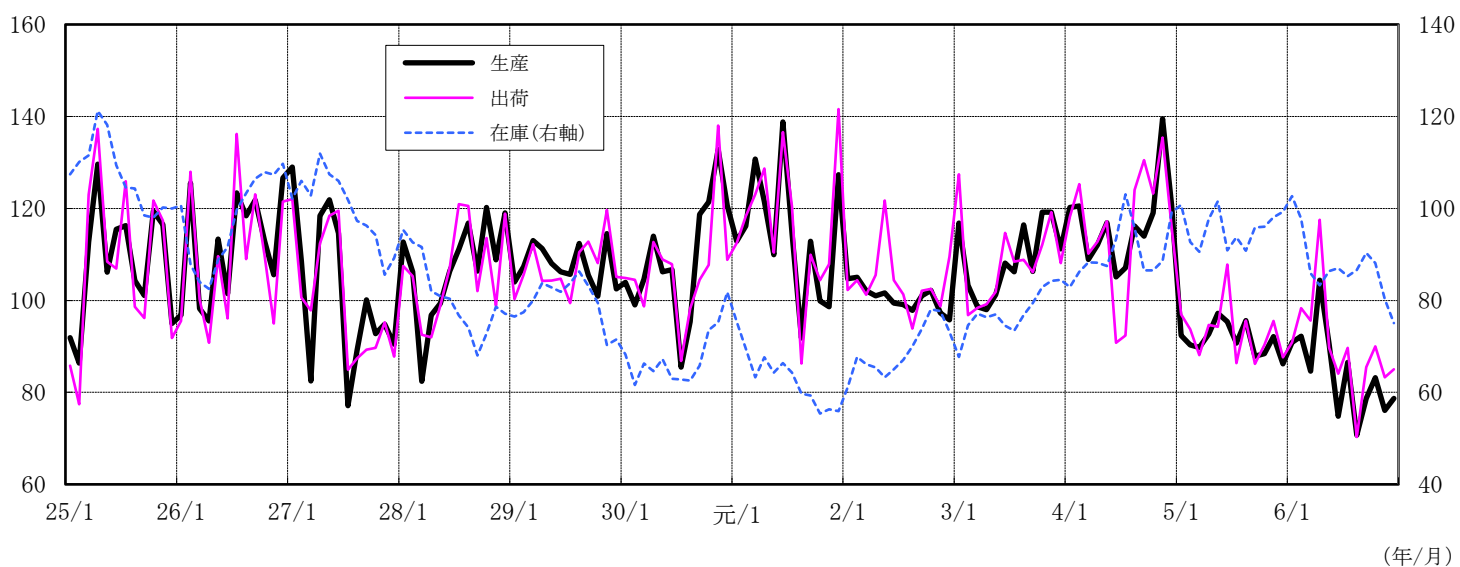
在庫



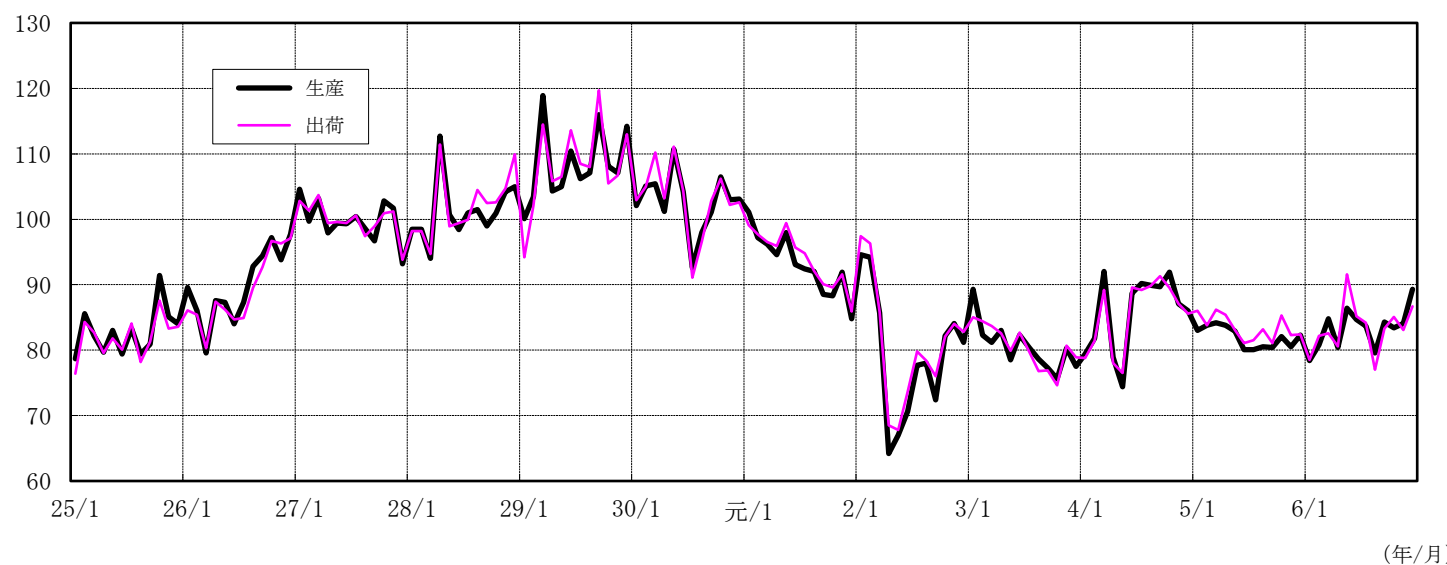
生産・出荷

一般機械工業（総合）（付加価値額ウエイト＝1605.0）

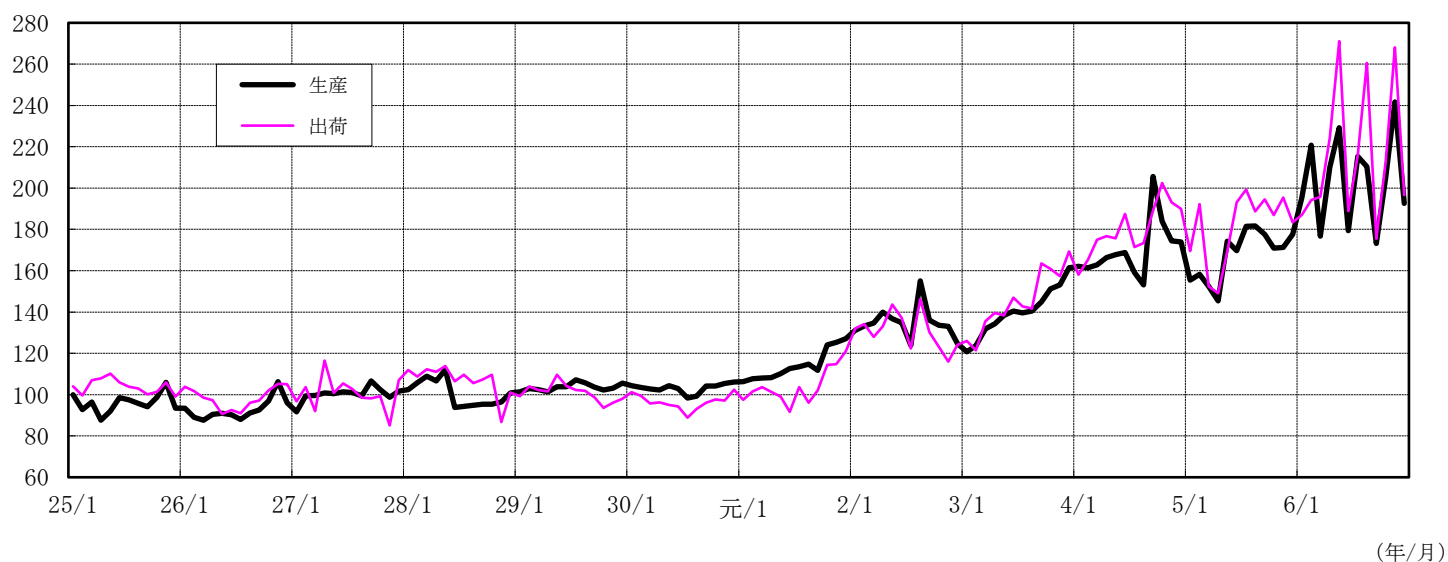
在庫



電気・情報通信機械工業（付加価値額ウエイト＝280.9）



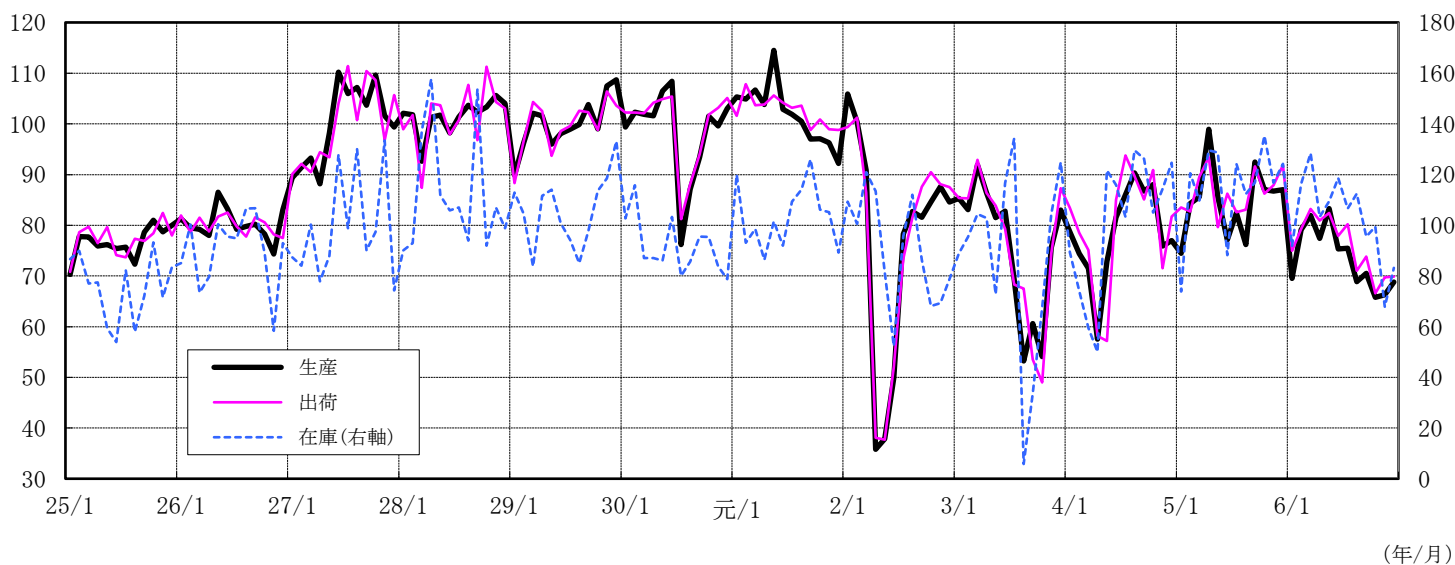
電子部品・デバイス工業（付加価値額ウェイト＝1091.1）



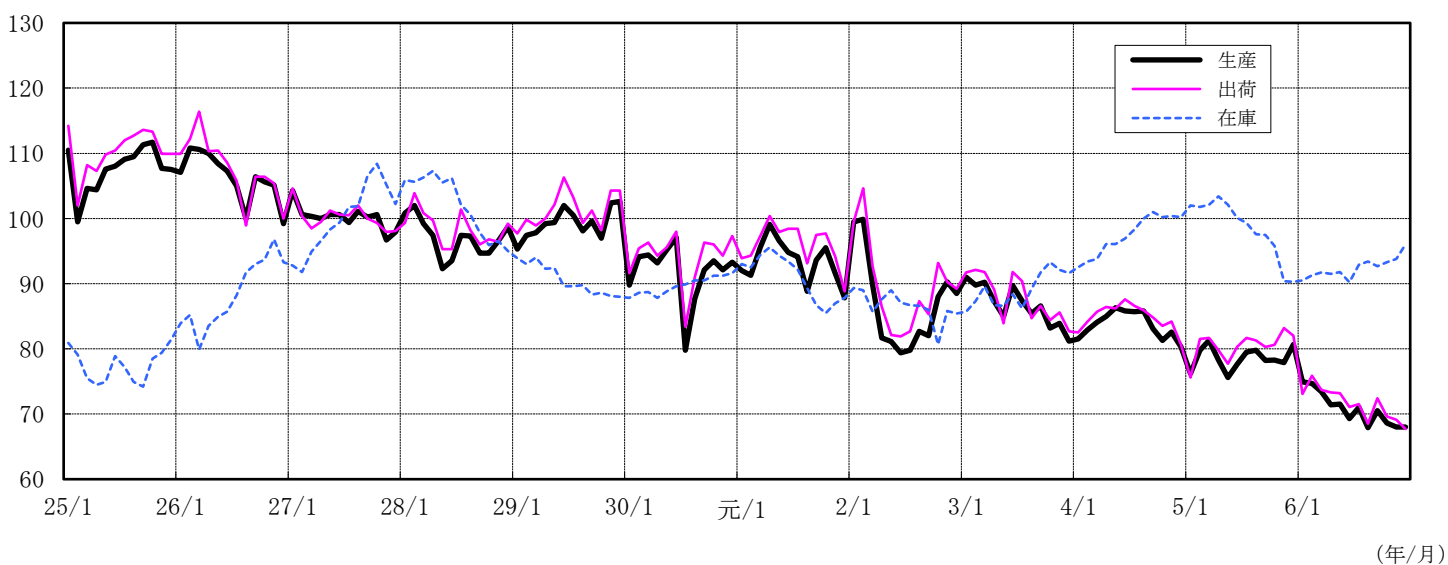
生産・出荷

輸送機械工業（付加価値額ウェイト＝3327.2）

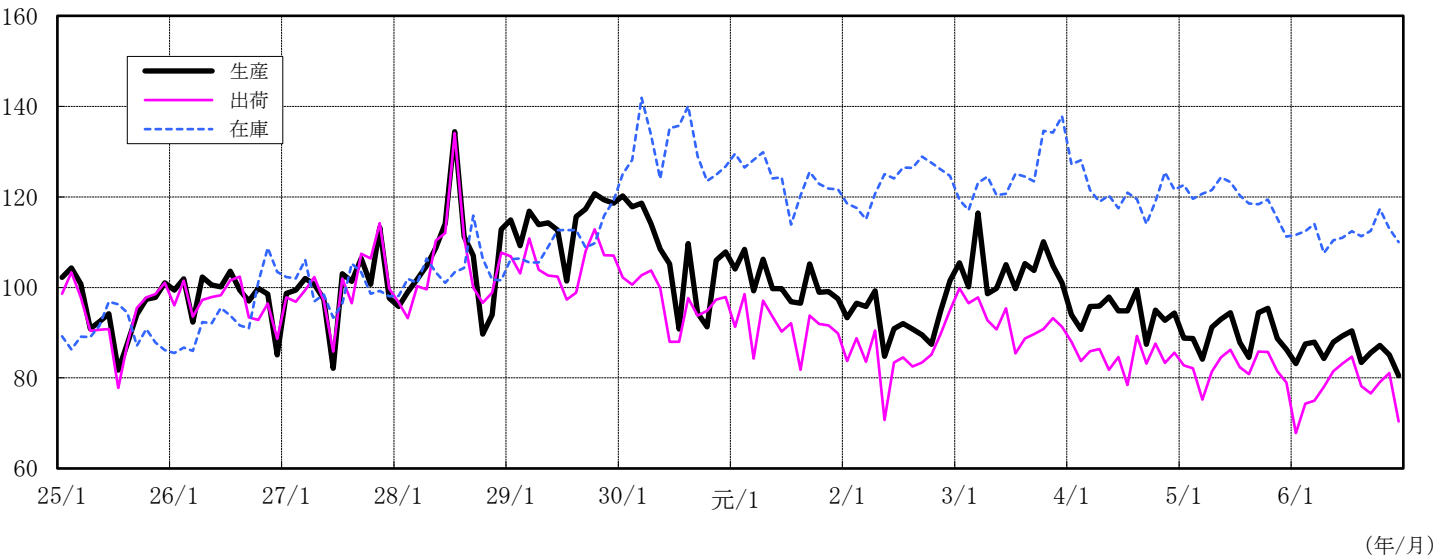
在庫



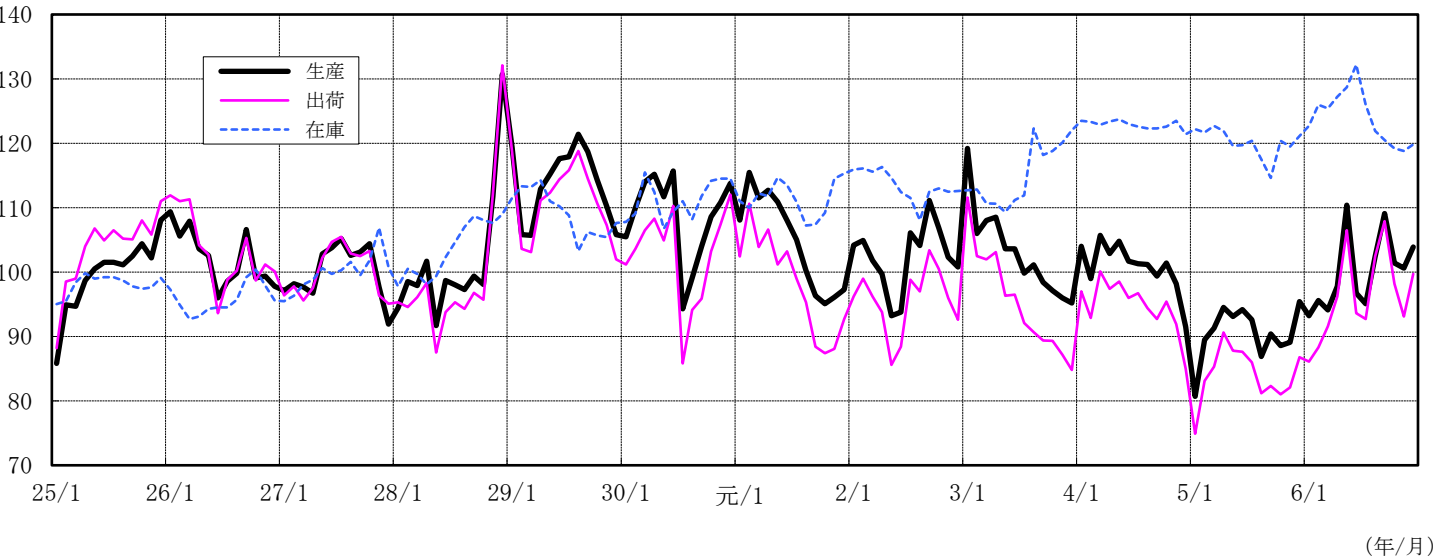
窯業・土石製品工業（付加価値額ウェイト＝202.0）



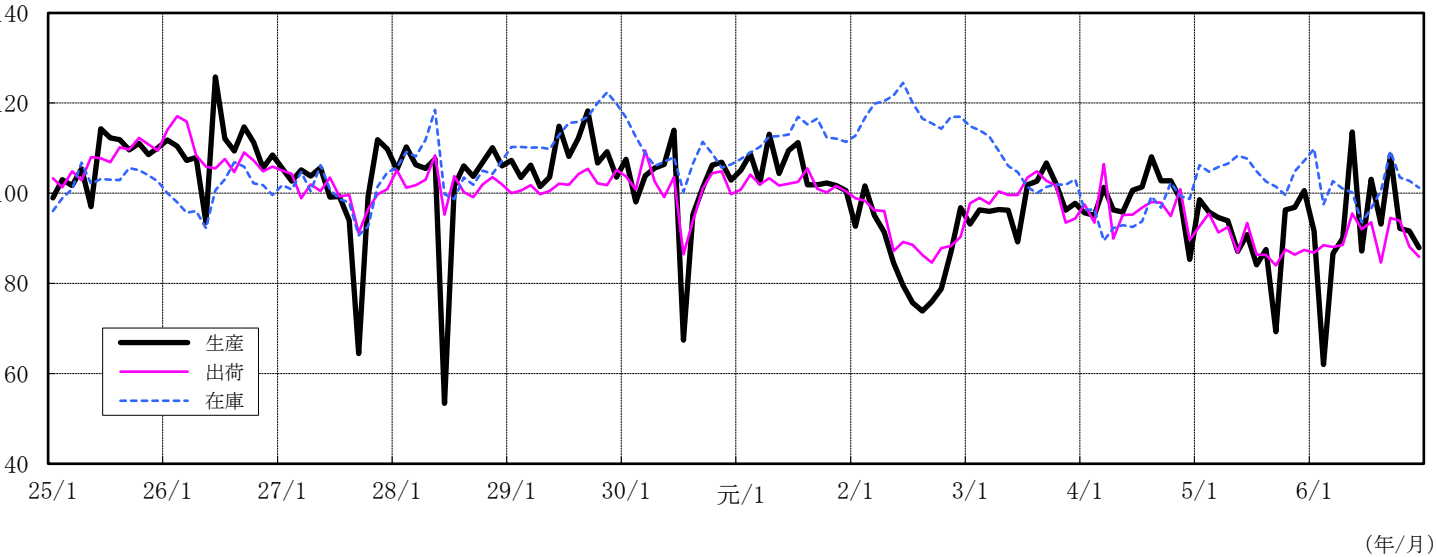
化学工業（付加価値額ウェイト＝302.5）



プラスチック製品工業（付加価値額ウェイト＝504.9）



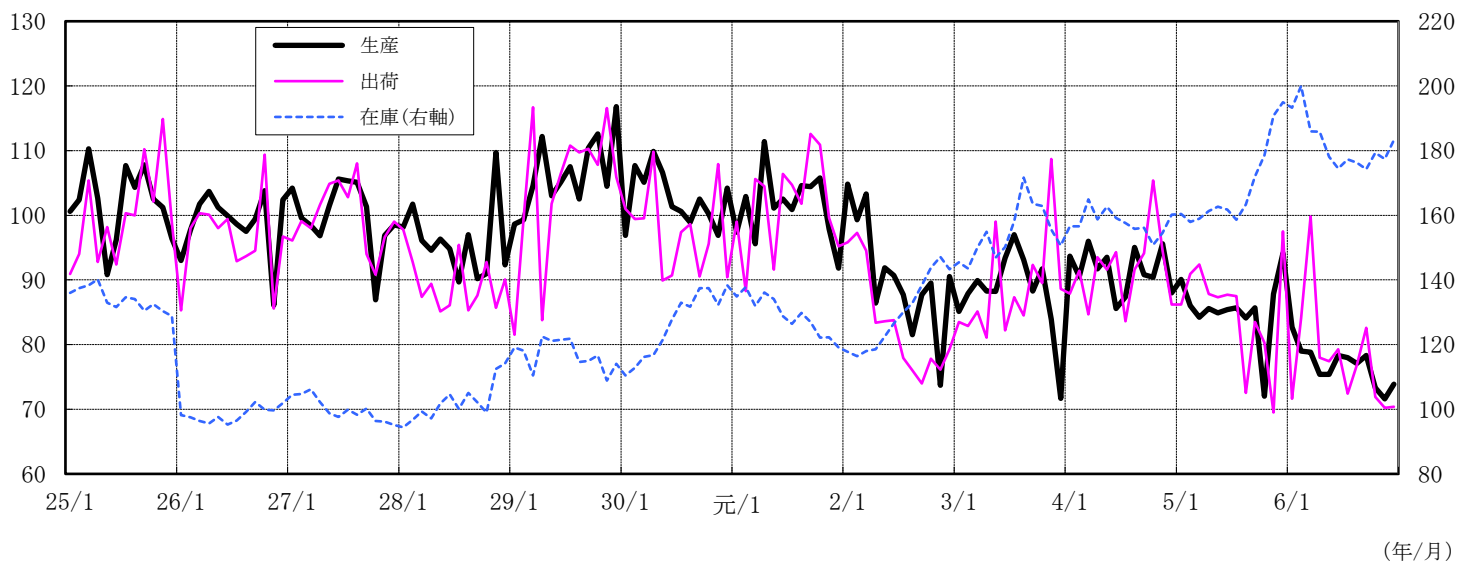
パルプ・紙・紙加工品工業（付加価値額ウェイト＝82.9）



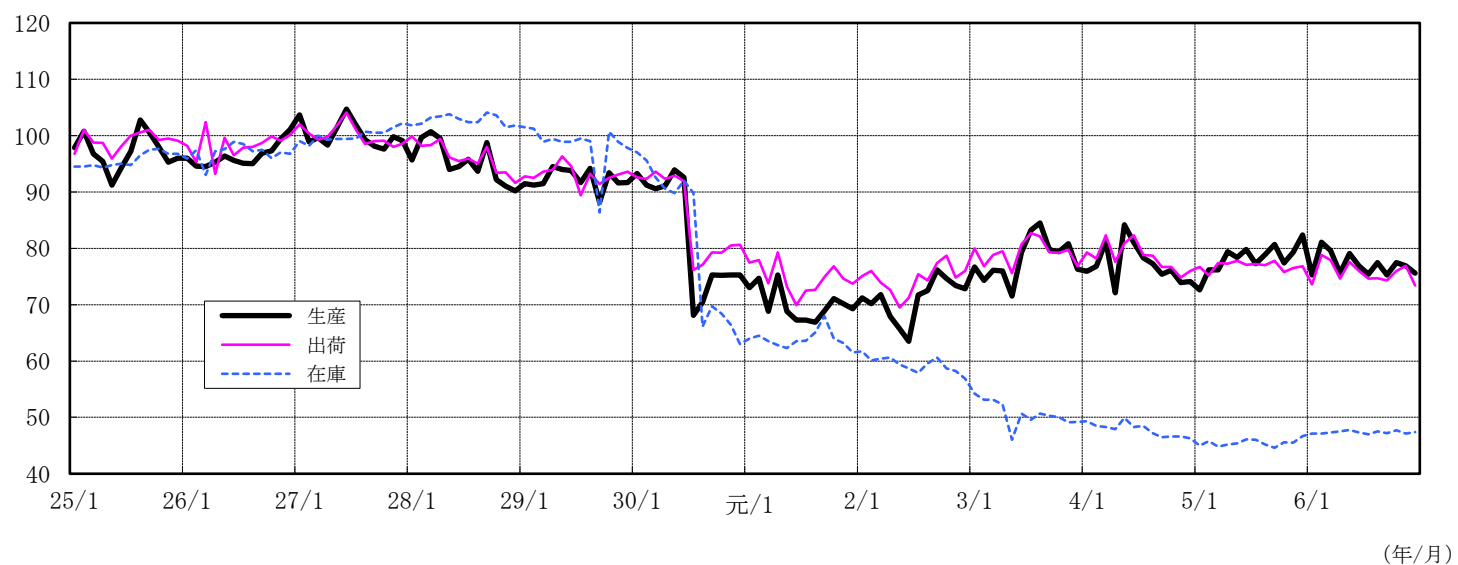
生産・出荷

繊維工業（付加価値額ウェイト＝173.3）

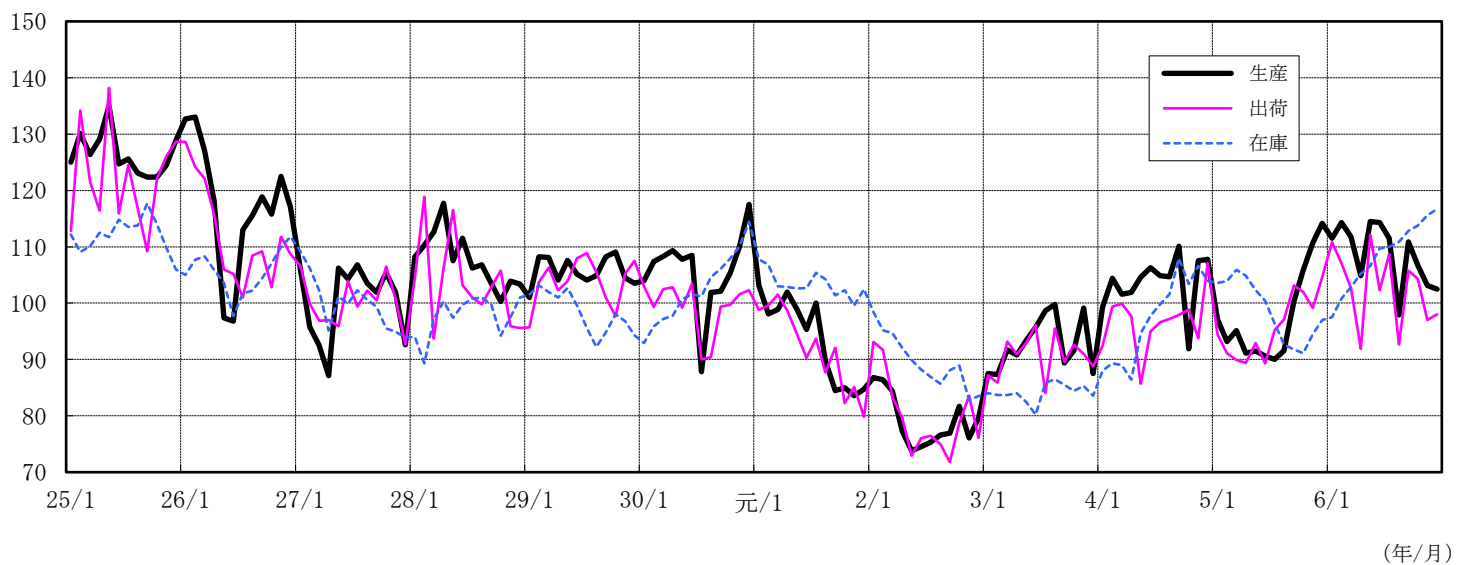
在庫



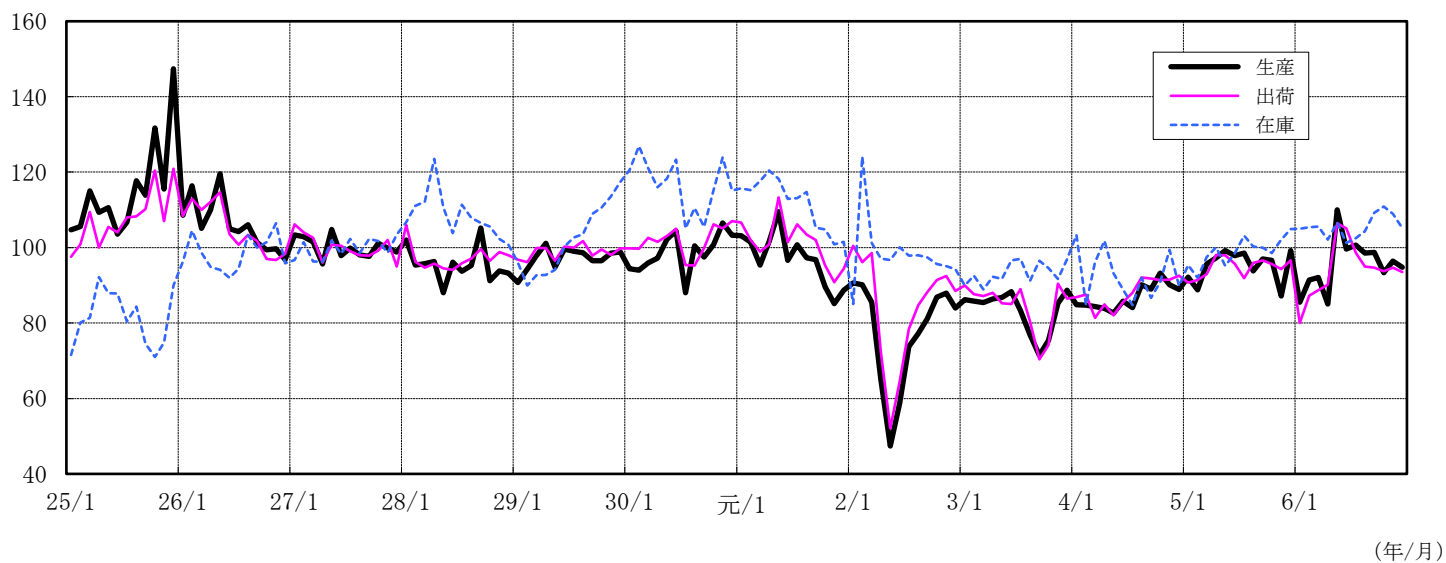
食料品・たばこ工業（付加価値額ウェイト＝813.8）



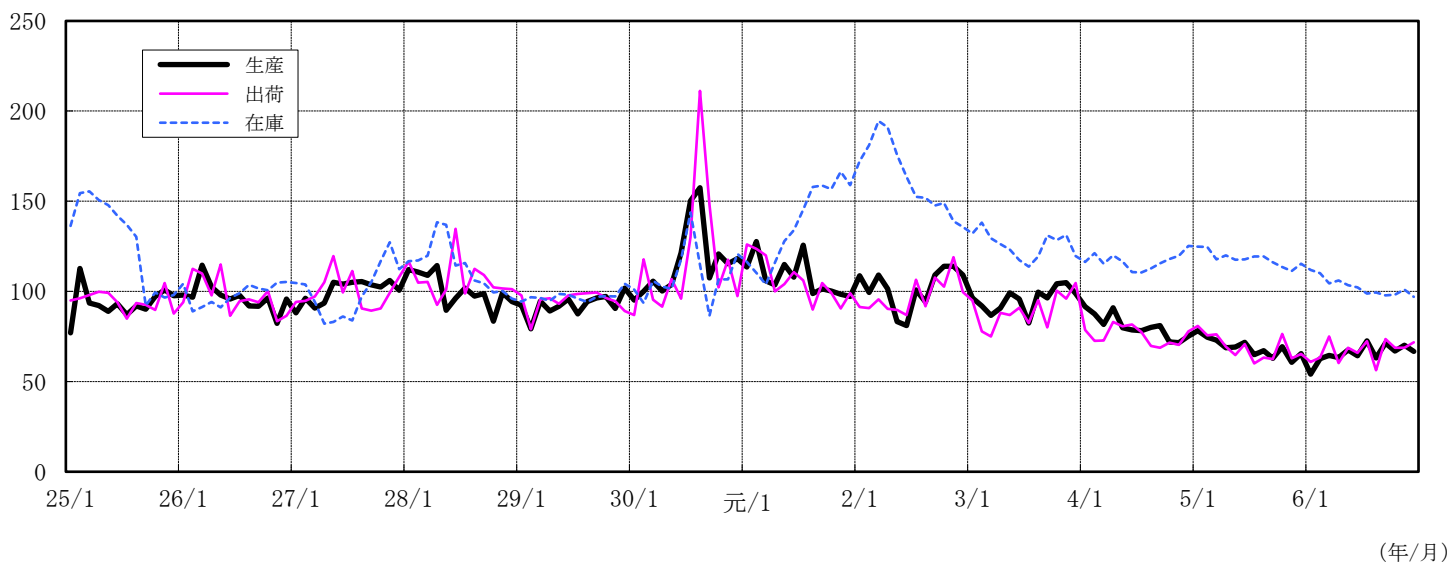
木材・木製品工業（付加価値額ウェイト＝161.5）



ゴム製品工業（付加価値額ウェイト＝142.7）



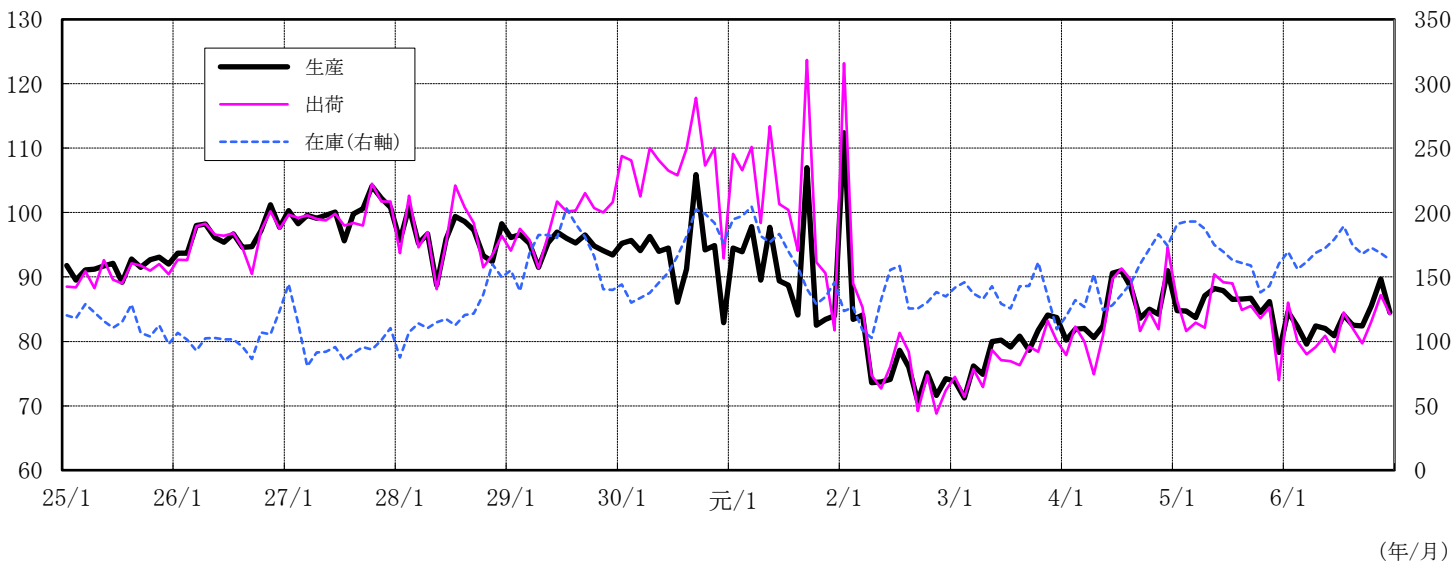
家具工業（付加価値額ウェイト＝61.9）



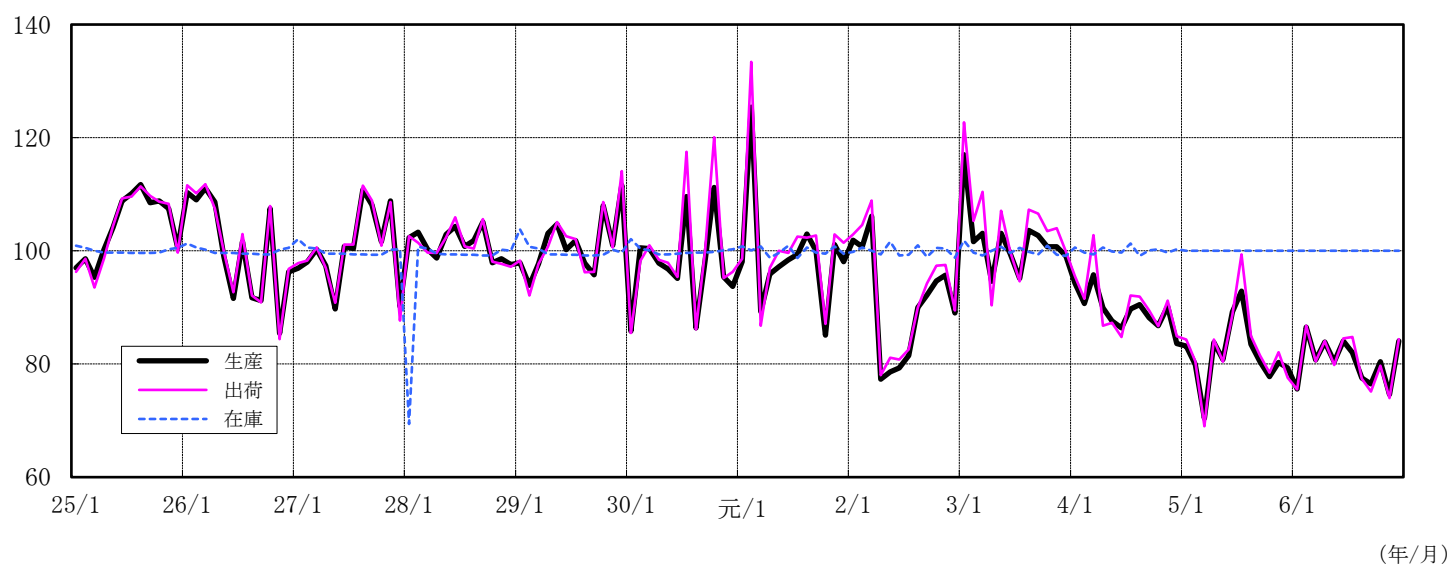
生産・出荷

その他製品工業（付加価値額ウェイト＝223.3）

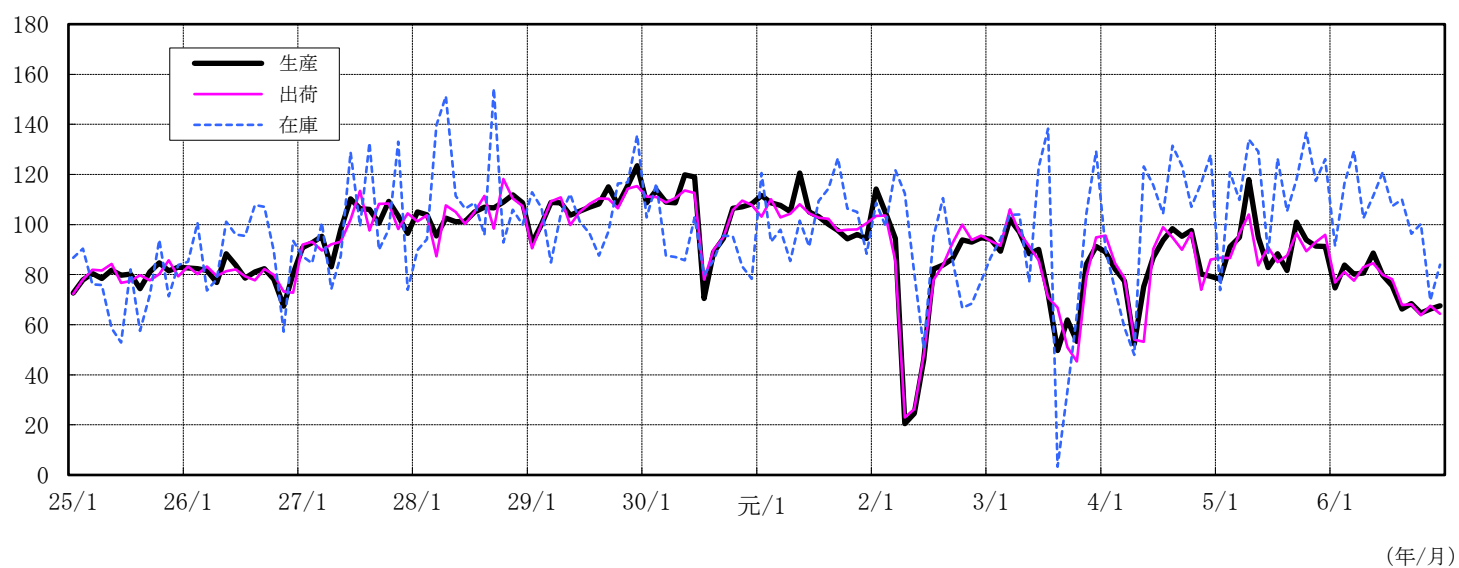
在庫



鉱業（付加価値額ウェイト＝1.9）



【参考】自動車部門（付加価値額ウェイト＝2605.0）



【参考】造船部門（付加価値額ウェイト＝761.3）



参考 広島県、中国地方及び全国の生産指数

広島県 平成27年=100
中国地方・全国 令和2年=100

年・期・月	広島県				中国地方				全国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
令和 4年			97.5	5.0			107.7	1.0			105.3	▲ 0.1
5年			94.4	▲ 3.2			106.7	▲ 0.9			103.9	▲ 1.3
6年			93.5	▲ 1.0			104.3	▲ 2.2			101.2	▲ 2.6
令和 4年Ⅰ期	94.5	1.9	98.1	0.9	107.1	0.8	108.5	▲ 1.1	105.4	0.8	105.4	▲ 0.8
Ⅱ期	95.0	0.5	91.0	▲ 1.1	107.0	▲ 0.1	104.0	▲ 1.1	103.9	▲ 1.4	101.5	▲ 3.4
Ⅲ期	101.1	6.4	99.5	13.8	109.2	2.1	108.1	6.0	107.1	3.1	106.9	4.0
Ⅳ期	99.8	▲ 1.3	101.2	6.8	108.2	▲ 0.9	110.2	0.8	105.3	▲ 1.7	107.2	▲ 0.2
5年Ⅰ期	90.7	▲ 9.1	92.7	▲ 5.5	105.0	▲ 3.0	106.4	▲ 1.9	103.5	▲ 1.7	104.0	▲ 1.3
Ⅱ期	95.8	5.6	92.2	1.3	107.1	2.0	104.4	0.4	104.8	1.3	102.4	0.9
Ⅲ期	96.1	0.3	95.1	▲ 4.4	107.1	0.0	106.1	▲ 1.9	103.3	▲ 1.4	102.7	▲ 3.9
Ⅳ期	95.1	▲ 1.0	97.8	▲ 3.4	107.4	0.3	109.9	▲ 0.3	104.4	1.1	106.5	▲ 0.7
6年Ⅰ期	95.7	0.6	94.7	2.2	102.2	▲ 4.8	102.5	▲ 3.7	99.0	▲ 5.2	99.9	▲ 3.9
Ⅱ期	96.4	0.7	93.9	1.8	105.6	3.3	103.0	▲ 1.3	101.1	2.1	99.0	▲ 3.3
Ⅲ期	91.8	▲ 4.8	91.7	▲ 3.6	104.9	▲ 0.7	104.8	▲ 1.2	101.4	0.3	100.9	▲ 1.8
Ⅳ期	90.1	▲ 1.9	93.7	▲ 4.2	102.7	▲ 2.1	106.8	▲ 2.8	101.8	0.4	104.9	▲ 1.5
令和 4年1月	95.3	0.3	93.2	3.1	107.7	0.3	104.7	0.8	104.6	▲ 0.8	96.7	▲ 0.7
2月	94.8	▲ 0.5	93.0	3.3	107.1	▲ 0.6	103.1	0.1	106.0	1.3	101.4	0.0
3月	93.3	▲ 1.6	108.1	▲ 2.8	106.6	▲ 0.5	117.6	▲ 3.8	105.7	▲ 0.3	118.2	▲ 1.6
4月	91.5	▲ 1.9	84.9	▲ 8.5	103.5	▲ 2.9	101.7	▲ 6.8	105.3	▲ 0.4	103.3	▲ 4.7
5月	96.6	5.6	83.5	2.6	107.4	3.8	98.7	1.3	100.7	▲ 4.4	92.8	▲ 2.7
6月	96.8	0.2	104.7	2.7	110.0	2.4	111.5	2.1	105.7	5.0	108.3	▲ 3.0
7月	98.2	1.4	98.6	5.7	110.2	0.2	111.7	5.7	106.3	0.6	107.9	▲ 1.8
8月	101.6	3.5	92.7	17.2	109.2	▲ 0.9	103.1	8.0	107.8	1.4	100.8	5.7
9月	103.5	1.9	107.2	19.4	108.1	▲ 1.0	109.4	4.5	107.3	▲ 0.5	112.1	8.7
10月	103.2	▲ 0.3	103.0	19.6	109.3	1.1	109.3	6.7	105.5	▲ 1.7	105.4	3.1
11月	99.2	▲ 3.9	101.0	3.9	107.5	▲ 1.6	108.7	▲ 2.6	105.5	0.0	108.6	▲ 1.4
12月	96.9	▲ 2.3	99.7	▲ 1.5	107.7	0.2	112.7	▲ 1.1	104.9	▲ 0.6	107.6	▲ 2.2
令和 5年1月	87.5	▲ 9.7	85.1	▲ 8.7	104.6	▲ 2.9	101.4	▲ 3.2	101.1	▲ 3.6	93.8	▲ 3.0
2月	92.2	5.4	88.6	▲ 4.7	104.3	▲ 0.3	100.7	▲ 2.3	104.5	3.4	100.9	▲ 0.5
3月	92.5	0.3	104.4	▲ 3.4	106.2	1.8	117.1	▲ 0.4	104.9	0.4	117.3	▲ 0.8
4月	96.4	4.2	91.4	7.7	109.6	3.2	107.6	5.8	105.2	0.3	102.5	▲ 0.8
5月	96.9	0.5	84.8	1.6	106.6	▲ 2.7	99.3	0.6	104.1	▲ 1.0	96.6	4.1
6月	94.1	▲ 2.9	100.3	▲ 4.2	105.1	▲ 1.4	106.3	▲ 4.7	105.0	0.9	108.2	▲ 0.1
7月	96.1	2.1	96.6	▲ 2.0	106.1	1.0	107.6	▲ 3.7	103.5	▲ 1.4	105.1	▲ 2.6
8月	95.7	▲ 0.4	87.0	▲ 6.1	107.7	1.5	102.2	▲ 0.9	103.1	▲ 0.4	96.1	▲ 4.7
9月	96.4	0.7	101.8	▲ 5.0	107.5	▲ 0.2	108.6	▲ 0.7	103.2	0.1	107.0	▲ 4.5
10月	95.4	▲ 1.0	97.9	▲ 5.0	106.0	▲ 1.4	107.3	▲ 1.8	104.4	1.2	106.3	0.9
11月	94.5	▲ 0.9	97.5	▲ 3.5	108.9	2.7	111.5	2.6	103.8	▲ 0.6	106.9	▲ 1.6
12月	95.4	1.0	97.9	▲ 1.8	107.2	▲ 1.6	111.0	▲ 1.5	105.0	1.2	106.4	▲ 1.1
令和 6年1月	94.0	▲ 1.5	86.2	1.3	103.3	▲ 3.6	100.2	▲ 1.2	97.7	▲ 7.0	92.4	▲ 1.5
2月	98.6	4.9	96.5	8.9	103.8	0.5	102.5	1.8	98.0	0.3	97.2	▲ 3.7
3月	94.4	▲ 4.3	101.3	▲ 3.0	99.6	▲ 4.0	104.9	▲ 10.4	101.4	3.5	110.0	▲ 6.2
4月	95.2	0.8	93.4	2.2	104.9	5.3	104.7	▲ 2.7	100.8	▲ 0.6	100.5	▲ 2.0
5月	102.3	7.5	95.1	12.1	106.7	1.7	101.7	2.4	101.9	1.1	97.3	0.7
6月	91.6	▲ 10.5	93.2	▲ 7.1	105.2	▲ 1.4	102.6	▲ 3.5	100.7	▲ 1.2	99.3	▲ 8.2
7月	94.4	3.1	101.0	4.6	105.4	0.2	111.5	3.6	102.5	1.8	107.8	2.6
8月	92.3	▲ 2.2	83.2	▲ 4.4	104.2	▲ 1.1	97.5	▲ 4.6	100.5	▲ 2.0	91.4	▲ 4.9
9月	88.7	▲ 3.9	91.0	▲ 10.6	105.1	0.9	105.5	▲ 2.9	101.2	0.7	103.6	▲ 3.2
10月	90.1	1.6	95.0	▲ 3.0	104.2	▲ 0.9	108.3	0.9	103.0	1.8	107.2	0.8
11月	91.3	1.3	94.7	▲ 2.9	101.8	▲ 2.3	104.5	▲ 6.3	101.3	▲ 1.7	103.4	▲ 3.3
12月	88.8	▲ 2.7	91.4	▲ 6.6	102.0	0.2	107.5	▲ 3.2	101.0	▲ 0.3	104.1	▲ 2.2

出所：中国地方 … 「中国地域鉱工業生産動向」（経済産業省中国経済産業局）

全 国 … 「鉱工業生産・出荷・在庫指数」（経済産業省）